

開発建設部

沖縄市国道330号胡屋交差点に新しい街のシンボル登場

「コザ・ミュージックタウン」「スクランブル交差点」「オープンカフェ」

Point

平成19年6月30日に胡屋交差点のスクランブル化を実施しました。
住宅、商業施設、駐車場、共用スペース等が一体となった「コザ・ミュージックタウン」が平成19年7月にオープンします。

●概要

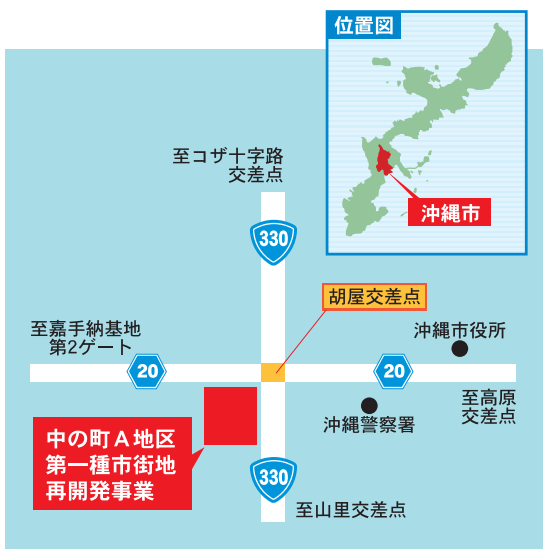
沖縄市中の町地区で国の補助事業として進められていました、「中の町A地区第二種市街地再開発事業」で整備中の「公共公益施設」が通称「コザ・ミュージックタウン」としていよいよ供用開始となります。

「コザ・ミュージックタウン」は、住宅（分譲マンション）、商業施設、駐車場、共用部分（エントランス、通路等）、公益施設（多目的スペース、音楽スタジオ等）、音楽広場で構成されています。

公益施設、音楽広場は、沖縄市が「コザ・ミュージックタウン音市場」と位置付け7月27日にオープンします。

市街地再開発事業の概要

- 名称／中の町A地区第一種再開発事業（国土交通省補助事業）
- 事業者／独立行政法人 都市再生機構
- 地区面積／1. 18 ha
- 施設概要／公益施設（多目的スペース、音楽スタジオ等）商業施設、住宅（8戸）駐車場、共用施設、音楽広場



道路事業の概要

- 名称／胡屋交差点改良事業
- 事業者／沖縄総合事務局
- 施設概要／交差点のスクランブル整備、オープンカフェスペース整備、歩道美化

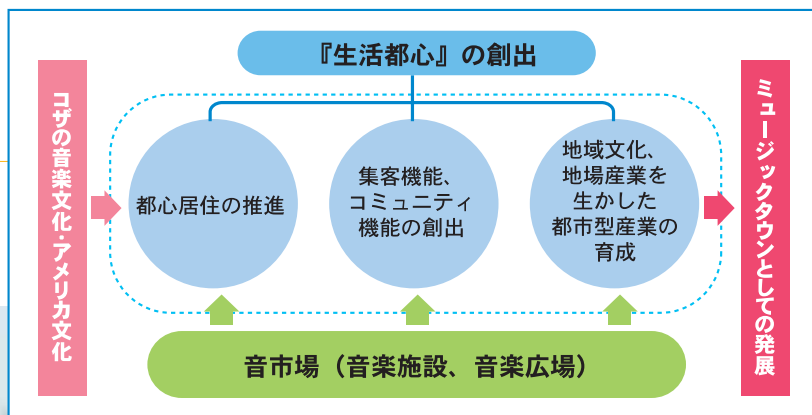
また道路事業としては、安全・安心かつ、交通弱者に対するバリアフリー施策の一環として、胡屋交差点のスクランブル交差点整備、歩道空間のバリアフリー化を実施し、「コザ・ミュージックタウン」のオープンに先駆け6月30日に交差点の切り替えを行いました。整備に当たっては、コザ・ミュージックタウン整備に配慮し、オープンカフェが実施できる空間の整備やタイル舗装、シンボルとしてのガジュマル等の整備を実施しています。



スクランブル交差点供用後の胡屋交差点 (H19.7)



スクランブル交差点供用前の胡屋交差点 (H18.12)



●整備の背景

沖縄市は戦後、アメリカ軍が建設した嘉手納基地の門前町として栄え、沖縄本島中部圏の核都市として発展してきました。

しかしながら、中心市街地は基盤整備が不十分で老朽化した建築物が密集し、土地利用の状況が不健全で防災上の課題が多く存在していました。

基地の門前町にして第3次産業に特化していく一方、沖縄の伝統的な地域文化を土台に米軍基地の存在によるアメリカ文化等の影響を受けながら極めて特色のあるイメージを持った街を形成してきました。

「中の町A地区第一種市街地再開発事業」及び「中の町・ミュージックタウン整備事業」は、沖縄市の歴史的な背景を活用し、他に類を見ない特性としての音楽・芸能を地域の資源として捉え、この地域資源を積極的に活かす拠点となる施設整備を行うことで、『音楽文化・産業の振興』と『中心市街地の活性化』を図ろうとするものです。

また、沖縄市より再開発事業の整備に合わせ、交差点のスクランブル化等の要望があり、胡屋交差点の整備を実施しました。